

尋ねる。

希望クラブ

竹原泉
奥野泰久
質問者
所属議員

市長 定住促進政策の実施により社会動態のマイナス幅は減少しているが、死亡率が出生数を上回り人口減少に歯止めはかかるつていない。今後の人口推移については地方版総合戦略策定での市の人ロビジョンの中でお示ししたい。



商店街の都市拠点としての位置づけは

議員 マスターープランには「JR笠岡駅周辺を市の中核的都市拠点として位置付け、市の顔としての商業の活性化、サービス施設の集積、居住者の定住、交通機能の充実を」との事だが、駅前地区に対する認識と、商店街単位としての機能を喪失している実態状況をどう都市拠点として位置づけるのか。

議員 市の今後の人ロビジョンを実施している施策の有効性を聞く。市外からの居住者増加へ期待が大きく、様々なニーズに則した受入れ態勢が必要不可欠と考える。被災地、関東からの移住ニーズも含め検討する必要があるが見解を

市長 笠岡駅北側市街地と、駅南側から住吉港までの区域を多様な都市機能を有した都

市拠点とし、今後駅南口の設置、駅と住吉港との連携を課

題としている。商店街は都市形成機能の一つである。支援策として、産業振興ビジョンに沿った保証融資制度や空き店舗利活用促進等、新たな事業展開、創業を支援する制度を拡充し活性化に取り組む。

他にはないきめ細かい福祉行政で存在感ある自治体に

行政で存在感ある自治体に

支援、ブランド化や商品開発、販路拡大の支援等を進めたい。

今後は長期的な産業振興戦略に沿った計画的な企業誘致を進めていきたい。

公明党

齋藤一信
金藤照明
質問者
所属議員



地場産業の発展・強化を目指した取り組みを

市長 本市の情報通信基盤の優位性を笠岡放送を始めホームページ等を活用してしっかりと発信していく、国のモデル事業の動向等を把握し、移住、定住促進施策の一つとして検討していきたい。

市長 27年度はこれまでのノウハウと施策を検証し、定住促進ビジョン、産業振興、ビジョンを発展させ、笠岡版創生総合戦略を結集し新しい笠岡づくりに挑戦する。あらゆる分野で福祉の視点に立って取り組む覚悟である。

市長 企業コードイネーネーによる企業情報収集、経営指導、各種補助金の紹介、企業間の取引支援を引き続き行っていく。経営セミナーの開催等による中小企業の人材育成

議員 笠岡市の地場産業の競争力強化や企業誘致への取り組みについて考えを尋ねる。

市長 企業コードイネーネーによる企業情報収集、経営指導、各種補助金の紹介、企業間の取引支援を引き続き行うが。

市長 これまで十一番町緑道堤、また土砂災害危険区域への土砂災害防止対策として、宮脇方式を導入すべきと考えるが。

議員 市内海岸周辺への防潮堤、また土砂災害危険区域への土砂災害防止対策として、宮脇方式を導入すべきと考えるが。